

令和8年8月31日（月）第2学期始業式式辞

今日から2学期が始まります。

最初に、リモートではありますが、こうして全校生徒、クラスメイト全員が元気に顔を合わせて2学期を迎えることができることを大変嬉しく思います。

夏休みを振り返ってみましょう。ライフル射撃部のインターハイでの大活躍、農業クラブ活動では、各種発表県大会、平板測量競技、全国大会のリハーサル大会である四国大会出場。

さらに、愛媛県吹奏楽コンクール県大会に出場した吹奏楽部の皆さん、国際教育リーダー研修会や家庭クラブ研究発表大会に参加した生徒の皆さんも忘れられない夏休みとなったはずです。また、猛暑の中、それぞれの学科において真剣に取り組んだ実習は、皆さんを一回りも二回りも大きく成長させたと思います。

そして、3年生は進路を決める人生でも大切な期間となりました。就職希望者はインターンシップで様々なことを学ぶとともに、求人票を見ながら、この会社であればやっていくことができるとか、進学希望者であれば、オープンキャンパスに行ってみて初めて学校の雰囲気を感じることができたとか、一人一人違うと思いますが家族の方と将来の自分について話し合うよい機会となったのではないのでしょうか。

さて、先日、愛媛新聞のコラム「四季録」（8月20日付）に、経営コンサルタントの小島俊一さんが「今、ここにこそ」という記事を寄せておられました。

私はその内容にとっても深く感銘を受けました。

記事には、このように書かれていました。

人生に不満は尽きないものだけれど、「今、ここにあるもの」に目を向け数えていくことで、見慣れた景色は優しさをみせはじめる、と。

今日一日を無事に過ごせたこと、誰かと笑い合えたこと、何かに挑戦できたこと——。それらは決して当たり前のことではなく、幸せとは「なるものではなく、感じるもの」であると小島さんは語っています。

これから始まる日々の忙しさや何気ない日常の中で、私たちはつい、目の前にある「当たり前」を忘れてしまっていないでしょうか。テストのこと、人間関係のこと、部活動のこと。不満や焦りを感じる瞬間もあるかもしれません。

だからこそ、この新しい学期からは、日常の中に隠れているたくさんの幸せを、自分の心でしっかりと見つけ、感じ取れる人であってほしいと願っています。

2学期は、目の前に迫っている運動会をはじめ農業祭、2年生の修学旅行など学校行事が目白押しです。そして、3年生の大半の生徒は2学期に進路が決定します。おそらく自分が考えている以上に時間はあっという間に過ぎると思います。その時その時を精一杯、取り組んでください。

まだまだ暑い日が続きます。体調に気をつけながら、生徒の皆さんが充実した2学期になることを願いまして、始業式の式辞といたします。